

南相木村

まごしちさか

孫七坂遺跡 発掘だより No.1

孫七坂遺跡とその周辺の遺跡

南牧村との境に連なる山稜の北側斜面の谷筋に、遺跡は立地します。谷は千曲川支流の南相木川へつながり、川の周辺では多くの遺跡が確認されています。発掘調査が実施された遺跡もあり、和田地区の大師遺跡では縄文時代と平安時代の土器や竪穴建物跡などがみつかっています。また、中島地区の見上遺跡でも縄文時代の土器がみつかっています。

これまでに孫七坂遺跡での調査はありませんが、縄文土器が採取されたという記録が残っています。今回は、砂防事業に伴い発掘調査を実施することになりました。



立ちはだかる厚い盛土

調査地は広い平坦地でしたが、地面を掘ると、この地形は厚い盛土をして人為的に作られたものであることがわかりました。盛土の下に残る旧地形は、削平されている部分もありましたが、縄文時代の土器が出土する層が部分的に残っていることもわかりました。盛土は厚いところでは5m近くあり、文字通り調査の「カベ」として、立ちはだかることとなりました。



土器 出土!

発掘調査を開始して約1か月、厚い盛土の下の層から待望の土器が出土しました。みつかった遺物は、表面に縄目がある縄文土器の破片です。

調査終了までにみつかった遺物は、縄文土器7片と陶磁器1片ですが、なかには、2cmほどの小さい土器片もあり、作業員の皆さんの緻密な作業のたまものです。



今回の調査でみつかった縄文土器片の詳細な時期は、わかりませんが、以前に孫七坂遺跡からみつかった土器は、縄文時代前期のものでした。その時期にみられる竹を半分に割ったような道具で施した文様のある土器片もみつかっており、今回みつかった土器も同時期の可能性が考えられます。

拓本に挑戦!

出土した土器は水洗い後に、拓本も採っていただきました。丁寧な作業の結果、細かい文様まできれいに観察ができます。



調査は6月下旬に終了しました。今後は、調査の成果を報告書にする作業を長野市篠ノ井にある埋蔵文化財センターでおこなう予定です。

発掘調査にあたっては、南相木村教育委員会をはじめ、たくさんの方がたにご協力をいただきました。ありがとうございました。



南相木小学校3年、4年、6年の皆さんの遺跡見学

ご協力
ありがとう
ございました!



南相木村 孫七坂遺跡 発掘だより
担当者：寺内貴美子 春日皓介
長野県埋蔵文化財センター
住所：長野市篠ノ井布施高田 963-4
電話：026-293-5926
発行 令和3(2021)年7月1日
HP：<http://naganomaibun.or.jp/>